

目次

I. 総括研究報告

- 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究
研究代表者 中島 直樹 九州大学 1

II. 分担研究報告

1. 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究「医師装着行動識別センサ開発および改修、導入」「ePath 循環器領域パス・呼吸器外科領域パスの追加開発」
研究分担者 的場 哲哉 九州大学病院 循環器内科 9

2. 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究「問診 AI(診療支援システム)開発と導入」
研究分担者 佐藤 寿彦 株式会社プレジジョン 14

3. 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究「臨床検査関連業務の解析およびタスクシフト/シェア」
研究分担者 横地 常広 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 20

4. 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究「ePath データの可視化・解析」
研究分担者 若田 好史 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 25

5. 標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診 AI などの ICT を用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究「医師業務負担削減手法のガイドライン案策定」
研究分担者 岡田 美保子 一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 30
(資料)標準化クリニカルパスに基づいた医師の業務負担軽減に関する提言

- III. 研究成果の刊行に関する一覧表 33